

津波避難訓練

自主防災会 明間 博隆

皆さん何時もお世話になっております。6月30日の防災訓練では、1028名の方々に参加いただき有難うございました。当日は、朝8時30分に地震が発生したとの想定です。全自治・町内会が定めた一時避難場所(津波対策)へそれぞれ避難した後、最終避難場所へ移動しました。3ヶ所の避難所毎に情報部が避難者人数をまとめ、報告して、本年度の主会場(舟栄中学校)へと移りました。全員での開会式を10時に開始しました。



津波避難訓練



炊き出し訓練 (アルファ米)



災害時用仮設トイレ



AED 操作



煙幕体験

閉会後に舟栄中学校教頭(本多先生)による校内案内、非常食(備蓄米)や災害時での活用教室等々の見学を行なった後に、日和山公園の災害時仮設トイレの見学して解散になりました。

また、7月10日に舟栄中学校にて開催されたジュニアレスキュー育成講習会では、1年生が1日かけての講習会後、当会婦人部による非常食(アルファ米)の炊き出しが実施されました。今後災害時での担い手は、地域に通う中学生が最大の協力者であり即戦力となるのを期待したいと強く思っております。

自主防部会

編集後記

☆小学校と中学校の統合が並行して進められている。それぞれが97年及び67年の長い歴史を持っていた。時の流れに伴い、校区の人口が低下して将来的にも良好な学校生活を維持する学童数が確保できないためである。

児童の立場を優先して、大胆な学校再編成に踏み切らざるを得なかったとはいえ、小中学校が変わること

はコミ協にとっても大問題である。これまでに築いてきた地域と学校との関係が崩壊する可能性があるからである。ここでは長期的な視点で受け止め、これからの変化に対応しつつ、統合による新しい世界の構築に協力して行きたい。

編集委員：鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫
明間博隆、古寺昭治、小島良子、野内隆裕

入舟 コミ協だより

第12号
発行：'13.10.1
発行所：入舟小学校区
コミュニティ協議会
責任者： 田村幸夫
TEL 223-3532



第1回コミ協 敬老会

福祉文教部会 古寺昭治

65才以上の人口が3割を超す当下町地域では、その長寿をお祝いし、また下町住民の親睦と交流を図りながらお互いの絆を深めて頂くべく、かねてより温めていた行事を実施するものです。

第1回目(9月16日敬老の日)は、入舟小学校ふれあいホールにてオープニングセレモニーを開催。140名余の参加の方々には小林組による津軽三味線、新潟大学落語研究会の落語3題、舟栄中学校生徒10名

による新潟総おどり等のショーを楽しんで頂きました。その後、場所を移しランチルームでの昼食会では当コミ協の婦人部によるオリジナルな豚汁も振る舞われました。参加者の平均年齢はおおよそ75才で全体で女性が6割を占めています。喜寿(77才)は勿論のこと、傘寿(80才)、米寿(88才)の方もお見受けしました。いずれの方も歳を重ねても心身共に元気な様子でした。今回参加できない方も次回にはご一緒に如何でしょうか、お待ちしております。

福祉・文教部会

コミ協懇談会

コミ協会長 田村 幸夫

去る9月1日(日)北部コミセンにおいて、地域の自治・町内会長及びコミ協の役員の出席のもと、コミ協懇談会が開催されました。議題の内容は ①中学校、小学校の統合に至る経過説明、②当コミ協の規約改定の素案説明、③各部会や関連団体の現状報告 ④自治協のBRTについての報告 などを市" BRT "計画につて若干の意見交換を行いました。



みんな参加で思い出語りましょう！ 舟栄中学閉校記念式典・お別れ会

お別れの会運営部長

高橋 誠一

全国どこの地域でも、少子高齢化が進むなか、ここ下町(しもまち)は特に進行が早いと言われています。

最近では夏休みラジオ体操が単独町内会では児童の数が少なく実施が難しく、数町内会合同でやっと参加人数がまとまるという状況です。新潟市への要援護者登録も大勢になり、地域の若い援護者が全然足りないのも現状であります。

そうしたなか、中学校統合問題が浮上してきました。至極当然のことだと思います。同級生が少ない友達が少ない部活が構成できないクラス替えができない等々 数十年前に卒業した私達には想像もできない事が起きております。

なんとかしなくては、そこで教育効果の向上と教育環境の整備を図っていく為に、下町の中学校 舟栄と二葉が統合されること



初代校舎



2代目校舎



3代目校舎

閉校記念式典およびお別れの会のご案内

地域の皆様、同窓生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より舟栄中学校の教育活動に対し、格段のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。すでにご案内しておりますが、閉校記念式典およびお別れの会を下記のように予定しております。ご多用のことは存じますが、地域、同窓生の多くの皆様にご出席いただきたくあらためてご案内いたします。

舟栄中学校閉校記念事業実行会 委員長 田代雅彦 副委員長 吉江常浩 田村幸夫 宮原 務 石坂 学

期日 平成25年11月16日(土)

閉校記念式典 <舟栄中学校体育館で行います> 受付 12:00より

オープニングセレモニー 13:00~13:30

アトラクションⅠ ~歩み~ 13:30~14:30 (途中休憩含む)

舟栄中学校の歩みを振り返り、記憶の中に刻まれている懐かしい時間を蘇らせてください。

○映像、音楽、ナレーションで綴るプレゼンテーション

○各年代の同窓生によるトークセッション

○国際舞台で活躍中のソプラノ歌手 今井あいさん(同窓生)によるメモリアル演奏

アトラクションⅡ ~未来へ~ 14:30~14:50

現在の舟栄中学校の子どもの姿をご覧いただき、未来への胎動を感じてください。

○新潟総踊り05神楽の演奏 ○全校生徒によるメッセージ合戦

エンディングセレモニー 14:50~15:00

お別れの会 <ANAクラウンプラザホテルで行います>

開場 17:30 開会 18:00 閉会 20:30 会費5000円(お一人)

記念式典・お別れの会に参加を希望される方は、次のいずれかの方法でお知らせください。

- 1 この回覧についている「参加希望用紙」に記入してください。
- 2 舟栄中学校のホームページにある「申込専用フォーム」からメールを送ってください。
- 3 舟栄中学校にFAX(228-0985)でお知らせください。

お別れの会に参加されたい方は、事前に、郵便振替(青印刷)で、会費を振り込んでください。

口座番号 00550-1-50565 加入者名 舟栄中学校閉校事業実行委員会

8月19日(月)から受付を始めます。お問い合わせは、228-6547(舟栄中教頭)まで。

になったのです。

平成26年3月に両校を閉校し、4月に現舟栄中学校舎で生徒や地域の人たちで考えた「新潟柳都中学校」として開校します。

地域の方々には大変想いが深い舟栄中学閉校に伴い、記念誌、記念碑の作成、そして記念式典、お別れの会を開催することになりました。

新潟市、教育委員会、元校長及び職員、同窓会、PTA、地域の方々をお招きして盛大に執り行う予定であります。一人でも多くの方々に参加いただき、思い出話で盛り上げましょう。是非お待ちしております。

舟栄中学・閉校事業

4小学校の統合実行委員会が立ち上がりました

コミ協理事

(入舟小学校PTA会長)

野内隆裕

平成25年5月8日、二葉中学校区・舟栄中学校区内小学校地域検討会から提出された小学校の統合に関わる提言について、4つのコミュニティ協議会が連名で提言趣旨に沿った要望書をまとめ、市と教育委員会へ提出いたしました。(右写真)



それを受け、新潟市教育委員会は、平成27年4月に4小学校を統合する方針が決定しました。



湊小学校

豊照小学

入舟小学

栄小学校



平成25年8月19日、湊・豊照・入舟・栄の4小学校の統合に関わる地域・学校・保護者(PTA)等が中心となり、統合実行委員会が立ち上げられました。

第1回の委員会が湊小学校にて開催され(左写真)、今後の取り組みについて以下の事柄について確認されました。

統合実行委員会は、新しい開校式典、学校の校名、目指す基本理念、通学の安全確保や学童保育などについて検討をする。新しい学校の姿を地域と学校と保護者が一緒になって考えていく。4小学校の閉校に関わる事業について各小学校区で閉校事業実行委員会などを立ち上げて取り組む。

入舟小学校区からは、入舟コミ協会長と副会長、入舟小校長先生、教頭先生、PTA会長、副会長が参加しております。(第2回目の統合実行委員会は10月9日に豊照小学校にて開催予定)

入舟小学校